



## COVER STORY

### 認定こども園 こひつじ幼稚園 ろばの子保育園

昭和11年にミス・ミルドレット・クレーグ師が増田町で宣教を開始し、昭和24年に東北聖書バプテスト十字架教会礼拝堂にて日曜学校と無料託児所が始まりました。そして昭和28年、こひつじ幼稚園として発足。その後増築や定員の増員を重ね、平成20年にはろばの子保育園を開園。平成24年には県に「認定こども園」として認定されました。毎年1月には未就園児を対象に餅つき大会を開催(平成26年は1月24日を予定)。在園児と未就学児の交流にも力を入れています。



# 太陽と土と水と愛情が 豊かな心を持つ たくましい子どもを育む



#### 地域の保育を支える 「認定こども園」

平成24年、県に「認定こども園」として認定されたこひつじ幼稚園。現在、横手市で唯一の認定こども園として総合的な子育て支援を行っています。同園の指針である「キリスト教保育」は教えにある愛の精神を礎として情操教育を行う保育。困っている人へ手を差し伸べるやさしさを教えを通して伝え、あらゆることへの感謝の心と、豊かな心を育てます。キリスト教保育の歴史は古く、1549年にフランススコザビエルが来日し、教会学校を作ったことから始まります。「う

ちは仏教だけど…」といった相談をいただくことがあります。キリスト教保育は教えにある人間観に基づいて豊かな人間性を育むことが目的です。学校教育法に基づいて運営しているので、信仰に関わらずどんな方も入園が可能です。子どもの入園で初めてキリスト教に触れるという保護者さんも多いですよ」と園長の佐藤さん。

#### 全身で学び、表現する

こひつじ幼稚園の幼児たちは全身をつかって遊びます。天気の良い日は外でいっぱい太陽を浴びながら泥んこ遊び。外に

出ることができない日は走ったり這ったり転がったりして色々な動物を自由に表現するリズム遊び。体を動かしてたくさんの情報を得て、まだまだ未発達な運動神経や言語能力の成長を促します。また、強い心身のために裸足保育を実施。園内の床は弾力のあるヒノキ材を使用し、幼児たちは冬を除いても裸足で木や砂、泥の上を駆け、自然がもつ柔らかさやあたたかさに触れています。「私たち大人の役割は、遊びの時間を保

障してあげること、考えさせること、そして見守ることだと考えています」と園長の佐藤さんは話します。水場と遊び場が離れていても、子どもたちは水が必要だと考えると、離れた場所でもバケツを水でいっぱいにして運び、友達を手伝う姿が見受けられるといいます。子どもの成長を理解して大人がじっくりと待ち、まずは体験させ、考えさせる。保育者のあたたかなまなざしが、みずみずしい感性と健やかな体を育みます。

#### 認定こども園 こひつじ幼稚園/ろばの子保育園

tel.0182-42-3881 横手市十字町字栄町 19-1  
<http://kohitjuji.schoolbus.jp/>